



第 73 号
2018, 12, 31
(平成 30 年)

編集・発行
城北地区社会
福祉協議会

米子で行われた 県大会で表彰

8月28日、本年度の県民総合福祉大会が米子コンベンションセンターで開催され、約千人の参加者がありました。



野川副知事による開会あいさつ

開会にあたり野川副知事が挨拶の中で「数日前に私が住んでいます、鳥取市青葉町で防災訓練を行いました。訓練に参加できなかった高齢者宅を一軒一軒まわり、声掛けをし、無事を確認しました。このような事が日々の小さな福祉活動の継続に繋がるので」と話されておられました。

城北地区関係では、県社会福祉協議会長表彰で民生委員・児童委員功労者関係として次の4人が表彰されました。おめでとございます。

- 小谷 務さん (秋 里)
- 田口さち子さん (美 咲)
- 垣田 敬子さん (南城北)
- 山部 美雪さん (田園4)
- (総務班 西村 健)



10月3日、秋空の下「城北地区まちづくりグラウンドゴルフ大会並びに第14回日本海新聞鳥取城北専売所杯グラウンドゴルフ大会」が重箱緑地多目的広場で開催されました。

開会式では城北まちづくり協議会の吉田正人会長さんが「草を抜いて少し荒れたグラウンドであります、グラウンドゴルフを通じて健康維持に努めて下さい」とあいさつされ城北専売所の徳永真太郎所長も「日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し1打々で良いスコアをたたき出して下さい」と話されておられました。

い」と挨拶し、最後に吉野恭介市議会議員が頑張って下さいと選手を激励する挨拶がありました。スタートの合図と共に74人の参加者が2ラウンド16ホールでの熱戦を繰りひろげました。

上位成績者は次の通りです。

- 優勝 喜多川康度 (松並2区) 38
- 準優勝 岸本 薫 (松並1区) 38
- 三位 小谷 準一 (東秋里) 39
- 四位 山根 博 (丸山西)
- 五位 木下秀一 (秋 里)
- 六位 田中 正家 (丸山西)
- 七位 浦田幸太郎 (松並1区)
- 八位 松森 邦雄 (青葉2-1)
- 九位 加藤 二郎 (秋 里)
- 十位 永見 祐一 (青葉3)

※敬称は省略させていただきます

(敬老班 西村 仗行)



何かたくさんもらったけど、優勝じゃないんだ



ホールインワンを狙ってね!!

善意の福祉バザー

10月20日・21日の両日、城北地区文化祭が公民館を中心にして開催されました。

それに合せて福祉バザーも同時開催しました。

両日とも晴天に恵まれ人出は最高でした。

バザーのために地域の方々が寄せて下さいました数多くの善意の品々は完売状態で、売上金額は10万円ほどとなりました。

このバザーに協力いただきました全体的の方のお陰様と深く感謝すると共に、この収益は「西日本豪雨災害」と「北海道胆振東部地震災害」で被災された方々の支援の一部となればと思います、日本赤十字社を通じて全額寄付とさせていただきます。

なを、この事は常任理事会で協議・決議していますので、そのように活用させていただきます。

バザーのために拠出していただきました方々また、売上げに協力していただきました方々本当にありがとうございます。

(総務班 橋本 京子)



沢山買ってネ!! 福祉バザーの販売風景

城北小学校 児童福祉委員との 協同事業について

ひとりぐらしの

高齢者宅を

訪問しました

10月15日、授業が終わった午後、城北小学校福祉クラブ 児童・地区社協委員・民生児童委員・主任児童委員・地区交通安全協会役員のみなさんがいくつかの班を作りひとり暮らしの高齢者宅を訪問致しました。

本年度の訪問地区は秋里・東秋里・秋里タウン・南城北地区の指定されたお宅を児童の手作り写真立てと安全協会からの反射材付きタスキと安全チラシをお届けしました。

小学校児童は「いつまでもお元気で暮らし下さい」、「交通安全協会の人は「交通安全故にあわないう気を付けてください」とのメッセージと共に、それぞれのお宅にプレゼントをお渡し致しました。

(総務班 大江 博臣)



元気で暮らしますか?

敬老の日に寄せて 地域の暖かな 繋がりを 大切に

本年度の城北地区「敬老祝賀会」は休年の年となり、本年は対象者名簿と記念品の配布となりました。

対象者の75歳以上の方は、本年「842」人です。

9月8日に記念品と名簿をお届けしたところです。

90歳到達者は15人で鳥取市の感謝状も一緒にお届けいたしました。

本年度、対象者に成られま

お知らせ	平成30年	12月8日(土)	福祉講座
		12月14日(金)	配食サービス
		12月15日(土)	ふれあい教室
			場所: いこいの家
		12月21日(金)	配食サービス
		12月27日(木)	公民館年末大掃除
			場所: 城北公民館
	平成31年	1月5日(土)	城北地区新年祝賀会
			場所: 城北公民館

城北ふろつとサロン	
場所: 松並いこいの家	

平成30年	12月5日(水) 通常
	12月12日(水) ワンコインランチ
	会費 500円
	12月19日(水) 年末大掃除 9時~
	12月26日(水) お休み

した皆様には誠に申し訳ございませんが来年の式典開催をお楽しみにお待ち下さいませようお願いします。

(総務班 大江 博臣)



遠くまでよく見える!!サイコ〜

「うえむらなおみ」ぼうけんかんです。
 どこが楽しかったと言うと、クイズです。わたしはクイズの点は、12点でした。
 つぎにびっくりしたこと、下水どうのことです。
 わたしは、紙やくつしたを、ながしたらいけないんだなとべんきょうになりました。
 本とうにサマースクールに行つてよかったので、またいきたいです。

城北子どもサマースクールを 開校

「子育て支援」の一環として地区社協と公民館が共催で7月30・31・8月1日の3日間、「第8回城北子どもサマースクール」を開校いたしました。
 参加した子ども達の感想文の中から2年生と5年生の2人に代表して感想文を発表してもらいます。

楽しかったサマースクール

(2年 小路みえる)

わたしは、サマースクールに行つてよかったなあと思ひました。
 1ばん目に楽しかったのは山のぼりです。わけは、とちゅうにきゆうけいがあったし、ちよつときつかったところもあつたが、あまりにもきれいな景色を見れました。
 わたしは、とてもきれいです。本とうにきれいで、きれいなと言ひました。

特に心に残つたこと

(5年 岩田かん大)

ぼくは、3日間のこのサマースクールの中で特に心に残つたのは、植村直己冒険館です。
 理由は二つあります。
 一つ目は、植村直己さんのことについて、多くのことを知ることができたことです。
 ぼくは、植村直己のことをよくしらなかつたのですが、この冒険館を通じてどんな人かよくわかりました。
 二つ目は、友達の大切さが



答えはどこ? 植村直己冒険館内より

11月7日、暦は立冬朝のぱらつた雨で、空模様を心配したのですが、もちつき大会の頃には空模様も良くなり、温かい陽だまりの中、保育園の先生・保護者・地域の方々と一緒にもちつき大会を行いました。
 園児達も、もちをつき、つきあがったもちを小さな手で丸くまらめました。
 その後、年長さんと一緒に



良く分つたからです。
 クイズの時、矢追ひろと君と言う男の子が「ここ、教えて」と言つてきました。
 ぼくはびっくりしました。
 が、教えてあげました。
 すると、「ありがとう」と言つてくれました。
 ぼくは、その時、心があたたかくなりました。
 植村直己さんは、たった4万円だけ持つて外国に行つたと聞きました。それなの



子ども達 もう少し待ってね!!

に沢山のひと仲良くなりました。
 それを初めて聞いた時は、すごいな〜と思つたけれど、実はちよつとしたことで仲良くなれるんだな〜とわかりました。
 このこと以外にも、このサマースクールで学んだことは沢山あります。
 このことは、ぜつ対わすれないように帰りたいです。
 つきあがったもちをいただきました。
 (総務班 大江 博臣)

城北ふれあい教室

第4回 (通算183回)

7月18日のふれあい教室は福祉バス2台に56人が分乗して「夏の旅・ブラ歩き名工六の狛犬と鹿野城跡」と題した野外教室です。

朝から強い日差しが照りつける空模様で、「熱中病の予防が第一だね」と話しながら出発しました。

午前中に名工「川六」が彫つたと伝わる青谷の夏泊神社・専念時・湖津神社の狛犬を講師の広澤孝彦さんの案内で見学しました。

その後「青谷上寺地遺跡展示館」で鳥取道建設の再、発掘された弥生時代のめづらしい遺物展示品を見学し学習致しました。

鹿野山紫苑で昼食後、鹿野城下を散策した後、帰路につきました。

往復の車内での案内・現地での説明等、極暑の中頑張った広澤さんに改めて感謝いたします。



ご飯も食べたし、いざ出発！(山紫苑にて)

第5回 (通算184回)

酷暑の夏もようやく収まりつつある9月15日、62人の会員が公民館に集まり健康チェックの後、「青年後見人ってどんな人？」と題して、本日の講師である「源行政書士」の源和樹さんに講演して頂きました。

「青年後見人制度」とは、認知症や精神病等の障がいにより判断能力が不十分なため財産管理等が出来ない人に代わり家庭裁判所の選任に選ばれた後見人が代わって身上監護などを行うことが出来る制度です。

講演の中で、当会の会員からの色々な質問にも丁寧に説明していただきました。また、鳥取市福祉部長寿社会課の植田修三さんには「市民後見人制度」についてお話ししていただきました。誰でもが住み慣れた地域で安心していつまでも暮らせるようにしたいものです。制度の養成講座があることなど「城北ふれあい教室」のみまさんは、熱心に耳を傾けていました。



講座についていけるかな？ 青年後見人制度

山県勝田郡奈義町滝本の日本原陸上自衛隊駐屯地と奈義町現代美術館へ向け出発しました。

予定通りの時間に到着すると、基地の門前には迷彩服の若い隊員が我々の到着を待ち構えていて、バスを基地の施設まで誘導してくれました。

バスを降りると、そこは東京ドームの11倍という広大な基地です。

案内された施設は、大阪万博時に建てられたドイツのミュンヘン市館を移設したもので、当時の建物としては、日本国内で「太陽の塔」を含め三箇所現存するうちのひとつで、極めて希少な建物であることを知りました。

また、自衛隊の資料館の展示品は大変貴重なものばかりで、閲覧時間が足りないくらいでした。

お昼は隊員食堂で「体験喫食」を完了し、その美味しさとすべてが行き届いた食堂係りの皆様の配慮に感謝しつつ、限定のグッズなどの販売コーナーへ移動してお土産を購入いたしました。

次の目的地である奈義町現代美術館に到着し「現代美術とは何か」観賞しました。

美術館は建物そのものが芸術作品といわれおり、しばらくの間芸術観賞に浸かりました。

今回のふれあい野外教室は、終日晴天に恵まれ、すべてのことが「日々是好日」でありました。



こんな砲で訓練しています

第6回 (通算185回)

10月24日、62人の会員は、爽やかな秋晴れの早朝、岡

ふれあい教室班

- ◎ 第4回 入江 順子
- ◎ 第5回 大田 紀子
- ◎ 第6回 大田 紀子